

# 京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：京田辺市

## 1. 平成27年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本市では、第3次京田辺市総合計画に掲げる諸施策を着実に推進するため、計画期間を平成25年度から平成27年度までの3年間とする「行政改革実行計画（フォローアップ計画）」を策定した。		
	必要性	第3次京田辺市総合計画に掲げる諸施策を着実に推進するため。		
	概要	<p>計画期間（平成25年度から平成27年度までの3年間）における取組結果は、行動計画を完了した実行プログラムが49件、一部完了した実行プログラムが6件となった。「市民と行政とのパートナーシップの構築」の取り組みでは、玉露のまち京田辺のPR・知名度の向上をはじめ、総合型スポーツクラブや自主防災組織等の育成などについて市民とともに協働した結果、まちづくりを支える人づくりが推進されたとともに、ツイッターやフェイスブックの活用により広報機能が充実し、会議の公開指針の策定で情報公開制度が一層進み、市政の透明性が高まった。</p> <p>また、「より質の高い行政サービスの提供」の取り組みでは、インターネット公共施設予約システムの導入を一部施設で開始したほか、税・住基・福祉系の基幹情報を京都府共同化システムに移行するなど窓口サービスを向上させた。</p> <p>さらに、「効率的な行政運営」の取り組みでは、市税や各種使用料等の徴収率の向上をはじめ、起業家育成支援など産業振興や雇用拡大に努め、自主財源を確保するとともに、公共施設の長寿命化による修繕コストの縮減に取り組み、歳出の抑制に努めた。</p>		
	効果	「量」的な削減から「質」的な向上へと重心を移しながら、市民協働などにも重点をおいたプログラムを幅広く実施した結果、「第3次京田辺市総合計画」の目指すまちづくりの推進に資することができた。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
広域連携事業支援	ごみ処理後継施設の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ焼却施設の老朽化に伴う更新を検討した。</li> <li>・方向性の検討を踏まえ、可燃ごみ広域処理施設整備基本計画策定した。</li> </ul>	ごみ処理後継施設について、周辺の自治体との広域化を検討、協議をした結果、枚方市と広域処理を行うこと、新たなごみ処理施設は京田辺市内に建設することを決定し、可燃ごみ広域処理施設整備基本計画を策定した。	本市が単独で同等のごみ処理施設を建設する場合の全体事業費と比較し、大幅な歳出抑制が出来る見込である。